

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： ボランティア概論 ナンバリング：1006	保育士資格取得のための 選択科目	単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名：三友玲子 担当形態：単独
系列	教養科目		
教科目	外国語、体育以外の科目		
授業の到達目標及びテーマ 1. 自らの考えで様々な問題に取り組むことがボランティア活動であることを知る。 2. 自身の興味や関心で、自分の時間や環境の範囲でできる活動であることが理解できる。 3. 社会で起きている問題に関心を持ち、考え、行動することができる。			
授業の概要 ボランティアの意義や歴史、種類（領域）、課題等の基本的な事柄を学び、自ら課題を見つけ、調べ、まとめ、発表する活動を行い、ボランティア活動を理解する。			
授業計画 第1回：オリエンテーション（ボランティア活動とは） 第2回：ボランティア活動とは（ボランティア活動の動機） 第3回：ボランティア活動の理念・思想 第4回：ボランティア活動の意義 第5回：歴史の中のボランティア（戦前） 第6回：歴史の中のボランティア（戦後） 第7回：グループワーク（ボランティア） 第8回：人はなぜボランティアをするのか（動因・モチベーション） 第9回：「公共」はだれが担うのか（コミュニティ活動） 第10回：法人とボランティア団体 第11回：ボランティア活動が生み出す新しい価値 第12回：地域の課題発見（羽生市） 第13回：グループワーク（市民の視点からの解決を探る：羽生市） 第14回：教育とボランティア 第15回：ボランティアまとめ発表（Power Point、またはポスター） 定期試験：筆記		授業時間外の学習 1. 今までの自分のボランティア活動をまとめ。（1時間） 2. 自分のボランティア参加動機を振り返りまとめ。（1時間） 3. 思想家や宗教とボランティアの関係を調べる。（1時間） 6. 祖父母等に戦争体験を聞く。またはVideoを見る（1時間） 8. ボランティア活動のモチベーションを推察する。（1時間） 10. NPO 法人を予め調べる。（1時間） 11. 情報社会のボランティア活動の内容調べ（1時間） 12. 地域の課題調べ（1時間） 14. 教育・福祉の活動内容を調べ。（1時間） 15. これまでの学習内容をまとめる。（1時間） ※数字は授業回を表す	
授業の方法 基礎的な項目は講義を行い、その後、調べ学習・討議・発表形式で進める。基本的に毎回小テストや課題レポートでフィードバックを行う。また、ボランティア活動をしている方をゲストとして招くので、事前に活動内容などを調べておく必要もある。講義の後は授業のまとめ感想をグループワーク資料として使用する。			
テキスト 『学生のためのボランティア論』 岡本栄一・菅井直也・妻鹿ふみ子 社会福祉法人大阪ボランティア協会 1,800円			
参考書・参考資料等 「ボランティアってなんだっけ？」岩波書店 580円他 適宜紹介			
学生に対する評価 定期試験（30%）・提出物（50%）・小テスト（10%）・授業参画度等（10%）で評価			
履修上の注意 ボランティアの意味から、自ら積極的に学習しようとする者・ボランティア活動を希望する者を望む。 授業は学生主体で自分自身の考えや意見を述べるためにも、事前・事後学習が重要である。			
実務経験の有無	無	実務経験	
実務経験を活かした教育内容			